

ごあいさつ

今号の特集テーマは「里山」です。「兔追いしかの山、小鮒釣りしかの川……」。日本人にとってのふるさとの原風景は、里山ではないでしょうか。実際には里山で暮らしたことがない人でも、里山の風景にふるさとのなつかしさを感じるのはどうしてなのか、と以前から不思議に思っていました。もしかすると日本の昔話に描かれる里山のイメージが、こころのふるさととして定着したのではないか、というのが今のわたしの「仮説」です。私たちの先祖である昔話の登場人物の多くは、里山に暮らしています。昔話の中の里山が、いつの間にか日本人のこころに共通するふるさと像を作り出してきたのかもしれない。一方、リアルな生活空間としての現代の里山は、里山資本主義、Satoyama Initiativeなどの言葉とともに、最近改めて注目されています。森、里、海のつながりを見直す学際的な学問領域も生まれています。日本人にとって里山のもつ意味を、改めて考えてみたいと思います。

2015年7月

京都大学こころの未来研究センター長 吉川左紀子

こころの未来

KOKORO RESEARCH CENTER
KYOTO UNIVERSITY

2015 vol. 14

目次

ごあいさつ	吉川左紀子
01 巻頭言 心を遠い場所へ	小川洋子
02 石牟礼道子さんインタビュー 花ふぶき生死のはては知らざりき——里海の世界	石牟礼道子+鎌田東二
論考〈特集 里山〉	
14 京都三山と里山の実像	高田研一
19 里山とたたら製鉄	海老澤衷
23 里山の天敵を使った害虫管理	高林純示
28 アフリカ熱帯雨林のさとやま	四方 篤
32 里山と現代アート ——人と自然のかかわりってなんなのか	伊勢武史+三井麻央
エッセイ	
36 個人のこころと社会のこころ	福島慎太郎
37 頭蓋骨に刻まれたもの ——チベットで出会うこころ・からだ・人生	小西賢吾
研究報告	
38 スピリチュアルケアの裏庭	ティモシー・ベネディクト
40 日本のインフォームド・コンセントと患者・家族のための支援	ローラ・スペッカー・サリバン
研究プロジェクト	
42 研究プロジェクト一覧(平成25年度)	
43 こころ観の思想史的・比較文化論的基礎研究(人類はこころをどのようにとらえてきたか?)	鎌田東二
44 こころとモノをつなぐワザの研究 ——伝統芸能・武道における心技体の研究を中心に	鎌田東二
45 ヒマラヤ宗教精神の研究	熊谷誠慈
46 他者理解に関わる感情・認知機能:直接対面 vs. 映像対面での表情表出	吉川左紀子+上田祥行
47 コミュニケーションの言語・文化的基盤	内田由紀子
48 癒し空間の比較研究 生態智の拠点としての聖地文化 ——こころ・場所・癒しの研究	鎌田東二
49 子どもの発達障害への心理療法的アプローチ	河合俊雄
50 発達障害の学習支援・コミュニケーション支援	田村綾菜+小川詩乃+吉川左紀子
51 こころ学創生:教育プロジェクト	吉川左紀子
52 東日本大震災関連プロジェクト ——こころの再生に向けて	鎌田東二
53 地域の幸福プロジェクト	内田由紀子+福島慎太郎
54 心理療法場面にみられる象徴化機能の現代的問題に関する臨床心理学的研究	前川美行
55 子どもの発達障害と作業療法	長岡千賀
56 高齢者の認知能力に及ぼす運動の影響	積山 薫
57 身体と象徴:自然・社会・人体のリズムの総合的研究	木村はるみ
58 被災地のこころときずなの再生に芸術実践が果たしうる役割を検証する基盤研究II	大西宏志
59 2014年度仕事一覧	
69 センターの動向(2014年10月~2015年3月)	
編集後記	